

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	BX102／中級ミクロ経済学 (Intermediate Microeconomics)		
担当者名 (Instructor)	古川 徹也(FURUKAWA TETSUYA)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	ECX3110	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標 (Course Objectives)

ミクロ経済学の演習問題を数多く解くことで、内容に関する理解を深めることを目標とする。

The goal is to deepen the understanding of microeconomic theory by solving exercises in the textbook of this course.

授業の内容 (Course Contents)

履修者は、教科書の指定された問題を毎回事前に解いておくことが必要となる。講義では、それらの問題の解説を通じてミクロ経済学の様々なトピックスに関する理解を深める。問題を解くことで、履修者にとっては大学院入試や各種の資格試験対策等にもなるだろう。

Students are required to solve the specified problems in the textbook in advance. In the lecture, we will deepen our understanding of various topics in microeconomics through explanations of these problems. By solving the problems, it will be useful for students to prepare for graduate school entrance exams and various qualification exams.

授業計画 (Course Schedule)

1. ガイダンス 第1章 ミクロ経済学とは何か
2. 第2章 消費者行動(前半)
3. 第2章 消費者行動(後半)
4. 第3章 企業行動(前半)
5. 第3章 企業行動(後半)
6. 第5章 経済厚生
7. 第6章 不完全競争(前半)
8. 第6章 不完全競争(後半)
9. 第7章 公共経済
10. 第8章 不確実性
11. 第9章 証券市場
12. 第10章 国際貿易
13. 第11章 ゲームの理論
14. まとめ

授業時間外(予習・復習等)の学習 (Study Required Outside of Class)

予習: 事前に指定された問題を解いてくること

復習: 講義での解説をふまえて解き直してみること

成績評価方法・基準 (Evaluation)

筆記試験(Written Exam)(80%)/期末課題(練習問題)(20%)

テキスト (Textbooks)

1. 武隈慎一、2017、『演習 ミクロ経済学 第2版』、新世社 (ISBN:978-4-88384-249-0)

参考文献 (Readings)

講義中紹介する。

その他(HP等) (Others(e.g HP))

Blackboardを頻りにチェックすること。

注意事項 (Notice)